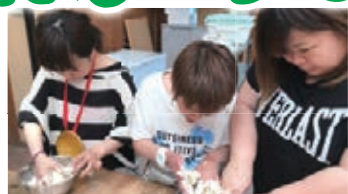


プリズム

一筋の光を七色の虹に変える、人は皆プリズム

50周年記念 あしたにタネを蒔こう



CONTENTS

- 表紙 明星学園50周年記念誌完成
- P2, 3 わくわくマイルーム
- P4 特集 飯田動作法月例会のご案内
- P5 つむぐーお心主義実践日記ー
- P6 ブレークスルー
- P7 こちら明星学園通り一丁目
- P8 輪・和・わ！インフォメーション

表紙写真紹介

皆さまのおかげさまで明星学園は50周年を迎えることが出来ました。

完成した記念誌には懐かしい思い出の記録がたくさん詰まっています。多くの方々に支えられてきたこの50年間の重さを再確認することができました。ありがとうございました。



こんにちは岩垂祐一です。
僕は今まで一生懸命、農作業をして働いてきました。でも本当はもう農作業はしたくなかったんだ。みんな仕事をしないと「ダメな人」って思うでしょ?・・・外出や帰省や自分のしたいことができなくなっちゃうかなって心配で言い出せなくて困ったから大暴れしちゃった。職員は僕の気持ちわかってくれて「自分で決めていいんだって」応援してくれた。だから「やらない」って決めることができました。



大切なお母さん、職員と一緒に日帰り帰省や年3回の1泊帰省をしてるよ。1泊帰省は一人で高速バスに乗って岡谷まで帰ります。

憧れは、ジュリーやマッチ!
前は派手な服はダメ、男の髪形は短い方がいいって言われてきたの。だから、オシャレなんかしちゃいけないって決めてた。本当はマッチみたいにかっこよくなりたかったけど・・・欲しくても我慢してた。でも仲間はおしゃれを始めてきてる。外出で勇気を出しておしゃれな服を買ったんだ。みんなも応援してくれて、今ではおしゃれな服が買えるようになったよ。



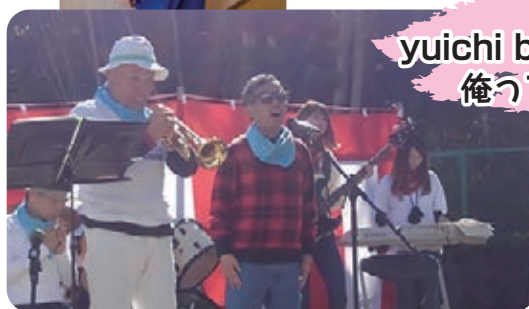
見てよ、欲しかったんだよね大きなテレビ、誕生日に思い切って買ったんだ。学園中で一番大きいんだよ!今は仕事をやめて昼間は好きな時代劇やお笑いを見たり、マッチの歌を聴いてのんびりしてるよ。



年に一度のクラス旅行は行きたいところを自分で選べます。お笑いの花月やディズニーも行ったなあ。少人数で行くんだよ、だからとっても楽しみ!



きらめき祭!
yuichi bandのメインボーカル
俺うてイケてるよね!!



伴走者の声

以前は自分の決めたマイルールがありました。派手な服、高いものは買っちゃいかん!は勿論、カップラーメンさえも買うことができませんでした。儉約家で、他の人と変わった事をしちゃいけないという信念を崩せず、本当の気持ちを表現することがとても苦手な人でした。今は作業を卒業し、自分のやりたいことを見つけ、買いたい物を伝えることができるようになりました。そして何より自分で決めるという大切な道を歩んでいます。

担任 酒井輝夫

～みんなの幸せがほくの幸せ～

こんにちは!!稲村寛太、39歳です。
ほくはみんなを元気にしてあげたくて、映画鑑賞会を開いたり、施設のおじいちゃん・おばあちゃんに僕の得意な歌をプレゼントしているよ。
みんなが笑顔になってくれるのが僕のしあわせなんだ～



ほくの家族を紹介するよ!
名前はポテ。お散歩に行ったり、ご飯をあげてるよ。
「ポテちゃん、だいすきだよ」



4月には高齢者の施設でおじいちゃん・おばあちゃんに歌のプレゼントをしたよ。
敦彦さんと一緒に、水戸黄門の助さん・格さん!
「みんな元気にああれ!」



11月にも行く予定だったんだけど、感染症防止のために行けなくなっちゃって、クラスみんなの前で発表したよ。
「この紋所が目に入らぬかー」



本当の映画館みたいにしたくて、手作りの食べ物も販売したよ。近くの施設の友達も誘ったらたくさん来てくれたよ。
「また来てね～」



きらめき祭では大好きなコナンくんの衣装でステージ発表したよ。「園長さん、見てー」



白石さんが辞めちゃったよ。一緒に温泉に行ったり、コンビニで本も買ったよね。「あ～、さみしいな。白石さん大好きだよ」



伴走者の声

大好きな人がたくさんいる寛太さん。誰にでも優しい寛太さん。みんなに元気になるってほしいとあれやこれやと考え、映画や歌の発表…素敵です!
これからいろんなことに挑戦して、楽しい毎日になるように応援しています。

担任 原田美記

※「 」 本人が実際に話した言葉です。

特集

飯田動作法月例会のご案内

学園では毎月講師を招いて「動作法月例会」を開催しています。動作法は心理リハビリテーションと言われ、体に触れながら動作課題（腕を上げる、正しく座るetc）を通して、どんな障がいのある方でもコミュニケーションの向上をはかる支援方法です。障がいのある方の意思伝達はさまざまですが、どんな障がいの重い方でも身体の動きを通して気持ちの交流が可能なのです。

動作法は学会も開催され全国的な組織です。その技術を習得するには、経験と時間が必要になります。そのため明星学園では講師を招いて、実践を通して月に一回学習を深めています。

飯田動作法月例会総括 五十鈴川克治

訓練の時間

13:30～15:00

講師による個別指導を受けながら、身体の緊張と心理状態を把握。この方に合わせた、身体を通してのコミュニケーションの方法を学びます。かわり方の幅が広がりますよ。

あ！動いた！力抜いてくれた。すごいね！



こちらに身体を預けてもらうことから始めましょう。Tさんの動きは感じられますか？

職員研修の時間

15:20～16:30

体系づけられた動作法の理論と実践を、毎月1つ教えてもらいます。動作法の基礎を学び、自分で体験できます。

「動作法って何ですかね？」



「基本は身体で会話できることですが、小さな○をいっぱいつけること、ですかね。身体に触れると、目には見えない努力をほめることができます。」



腰の位置がずれると、肩こり・腰痛になります。正しい姿勢や心の緊張をほぐして、前向きな心が生まれてきます。

事例検討

16:30～17:00

対象者を決めて一年取り組んでの変化を報告します。身体の動きや変化で、心の成長との関係を感じることができます。



「小さな○をたくさんつけること」この言葉に鳥肌が立ちました。テストで100点取れたり、100M競走で一番になったりするのは目に見えることだからほめやすい。障がいの重い方にとってそれはそれはなかなか難しいことです。しかし、動作法では動作課題を通して、見えない「努力」をほめることができます。そこには、お互いに喜び、挑戦するエネルギーが生まれます。

つむぐ

お心主義実践日記

宙組主任補佐
溝口 隆伸

明日に、つづく道



今回紹介させていただくのは二村広幸さん（45歳）です。18歳の時に明星学園に入所されてかれこれ30年近い月日が経ちました。そんな広幸さんですが2年前にお父様がお亡くなりになったのを境に、職員への強迫的な掴みかかり、鬱症状などの課題行動が表れてきたのです。広幸さんの行動発信を受け止めながら課題の一つ一つに現場の職員は試行錯誤しながら向き合ってきました。



エピソードⅠ

そんな中、広幸さんが強迫的に身体が動けてしまうことがありました。いつものように複数の職員で広幸さんを囲んで相談が始まります。その時に初めて彼から「僕は、もうお父さんから卒業します！これからは学園で担任の溝口さんと楽しいことを始めていきます」と発信があったのです！「お父さんを頼らなくてもいいと思うよ！」と職員は本人の気持ちだと信じて「父からの卒業」を進めたのです…でもその言葉の裏側には重大な気持ちが隠れていたのを職員は見抜くことが出来なかったのです…



エピソードⅡ

父から卒業すると決めてから、かえって課題行動が目立つようになっているのでは？と感じるようになりました。それでも次の帰省で墓前の前で父と卒業する手紙を読んできたのですが帰園してから必死に身体が動けてしまったのです。ここでようやく支援の振り返りです。広幸さんは「さびしい」を連呼しています。職員は「自分が寂しい」と捉えたのですがここで園長から「主語は自分ではなく、父ではないのか？」とスーパーバイスです。早速広幸さんに確認するとまさに『YES』、そうなんです。広幸さんは「父と別れたい」わけではなく「僕が帰らないとお父さんもお母さんも寂しがるから僕はこれから家に帰るし、お父さんには色々報告はしたい」だったのです。まさに支援を急ぎすぎた結果、広幸さんの想いを履き違えてしまった事に職員は謝罪しました。そして改めて墓前に出向き「これからもお父さん帰ってくるからね」と報告し、課題行動が収まっていたのです。毎月の日帰り帰省では父の好物の「タバコ」「お酒」を供物として持参し仏壇に供えています。そして、最近の広幸さんは「集団での日課や行事に参加しない」と教えてくれています。「僕は心配なことがあると、勝手に身体が動いちゃうけど、そういう姿を人に観られたくない！恥をかきたくない」と教えてくれたのです。少しずつ父とは違うことをしてもいい事を体験している広幸さん。彼の幸せの階段を昇るための応援団となれればと思っています。



BREAK THROUGH

ブレイクスルー

私を変えたあの日、あの瞬間

『支えられて働いている』 星組 内堀 千幸

長く働いてくる中で、私に支援の基礎を教えてくれた彼女が居た。もう20年も前の事。そんな彼女はもう、この世にはいない。彼女には本当の気持ちに向き合うことを教えてもらった。いつでも思い出す。彼女に教えてもらった事は沢山あり、思い出すと涙が出てくる。

彼女の伝え方は必死だった。2〜3語文しか喋れない彼女だったけれど、伝えようと思っても出てくる言葉は伝えようとする 것과全く違うことを喋ってしまい、伝わりにくかった。嫌なことがあると服を脱いで水に濡らし、更には居室中のものを全て投げてひっくりかえし怒りや悲しさを伝える彼女だった。職員は彼女の嫌だったことがわかったと、それを言葉にして彼女に伝え続けた。「Aさんは〇〇が嫌だったんだね、ごめんね」と。このやり取りを何度も何度も繰り返した。



同じ失敗はしないように、彼女の嫌なことを職員全体で考え、無くしていった。彼女は職員が寄り添う気持ちのあることを分かってきて、彼女の行動が変わっていった。彼女が職員の事を信じていてくれたから職員との関係も変わって行ったんだと思う。

爆発した行動をとってしまった後に、夜中一人で起きてきて、洗面所の片隅に座り、涙を流し、それを腕で拭いている姿があった。

やりたいと思ってやっている行動ではないことをその時に知って、そんなに辛いなら何とかしてあげたい、彼女が穏やかな人生を過ごせることを応援しよう、と思い、クラスの職員みんなで彼女の

事を真剣に考え、夜遅くまで彼女の事を職員で話し合っていたことを思い出す。大変だったけれど、彼女の事を真剣に考える時間が、今考えると楽しかったし、仕事としての責任も感じていた。

そんな彼女とのやり取りで学んだことは、「イヤを受け止める」から始まり「あなたがそのことを好きだということを私は知っていて、私がそのことを知っていることをあなたも知っている。」という関係を作ること、そのことを通じて、諦めずに信じ続けることを教えてもらったし、今でもそれを大切にしたいと思っている。(今はできてないけど)

この仕事はそうはいっても自分一人ではできない。周りの人たちに支えられながら彼女の支援をやってこれたんだと思う。これからも彼女から教えてもらったことをずっと心に留めておきたい。



支援員プロフィール★内堀 千幸

平成7年4月入社。平成10年4月、月組主任。平成15年3月、結婚退職。
平成16年6月、パート復帰。平成25年、出産で退職し、平成29年1月から星組パートとして勤務。

こちら明星学園通リーディング

連載その10



「みんな同じじゃない！」

明星学園・第二明星学園 総園長 宮下 智

知的障がいの方々が暮らしている入所施設なんて聞くと、みんな全く同じ暮らしをしているのじゃないか？と考えている人が、まだまだ世の中には圧倒的に多いのではないのでしょうか？同じ時間に起きて、同じ時間に食事をとって、同じ時間におやつを食べ、同じ時間に眠る。食事も一斉に食べ始めて、一斉に終わる。お風呂も順番に決められた通り、時間を守って入る。なんていう風に…。



仲間とのサッカー観戦

また、食事は残さず食べて、残せば叱られる。決められた就寝時間に寝なければ、叱られる。そんな風に考えている方も多いのではないかと思います。

さて、明星学園での暮らしは、今や世間の想像とは

全く違うところにあります。もちろん時間の制約はあります。施設では、どうしても守らなくてはいけないことがあるからなのですが、それは、食事の時間と職員の労働時間です。食事は配膳時間から1時間以内に食べないと保健衛生上の法律違反になりますし、労働時間は週40時間以内を守れなければ労働基準法違反になるからです。

が、それらの法律に触れなければ、自分たちの工夫で限りなく自由な暮らしを組み立てることが出来ます。何時に起きてきてもいいし、何時に寝ても構いません。少々食事の時間に遅れても全く問題ありませんし、お風呂も入るはいらないも本人に任せられています。食事では、嫌いなものは残して良いし、好きなものを購入して食べることも自由です。もちろん財源（お小遣い）による上限はありますが。

例えば、朝の食事風景はこんな風になります。A男さんは、朝寝坊ですが、決められた食事時間に間に合うようには目が覚めているようです。朝の着替えが面倒くさいのとお気に入りの服をずっと着ていたい彼は、パジャマを着ていないので、朝は起きれば、すでに食堂スタンバイ状態です。ところがすぐには、食堂に来ません。それは大声でしゃべっているB子さん、

C男さんが食堂にいるからです。B子さん、C男さんが食事が終わるころ、A男さんは食堂にやってきます。A男さんは生野菜とチーズが嫌いなので、代わりにお小遣いで購入した野菜ジュースとヨーグルトを支援職員に出してもらいます。メンバーさん方がまばらに座っている閑散としている食堂で彼はゆっくり食事をして、終わった後もしばらく職員の片づけや掃除を見ている。もちろん、叱られません。A男さんは、食事介助こそ必要ありませんが、配膳や片付け、また「生野菜やチーズが嫌いだから、違うものを食べたい。野菜ジュースやヨーグルトを代わりに出して欲しい」と伝えることや購入してある品を冷蔵庫から出してくることは独力ではできませんから、支援職員にとっては、決められた時間に食堂に来て、給食で提供された食事を好き嫌いを言わずに全部食べてくれることの方がどんなにか手がかからないか、ということになります。が、私たちはA男さんのこんな暮らしを応援し続けます。それは、次のように考えるからです。

「A男さんはわがままを言っているのではない」「自分らしい暮らしをしたいと思っているだけだ」「自分の人生は自分で決めることが一番大事なことだ」「幸



僕だけのこいのぼり

せは一人一人違うから、一人一人違う形の支援が、応援が必要だ」「自分の決めたことを応援してくれる人がいる、それが生まれてきた理由だ」と。

北欧生まれの言葉ですが、ノーマライゼーションという概念があります。＜普通の暮らし＞と訳されますが、どんなに重い障がいがあっても、意思決定により主体的な人生を送ることが重要であることを指し示す言葉です。知的障がいがあることで、幸せを値踏みされるようなことがあってはなりません。「お前は知的障がいなんだから、お前の幸せはこんなものだ」ではなく、「たとえ知的障がいが出なくても十分幸せになれる」がノーマライゼーションの考え方です。明星学園もその道の上を歩いています。

※写真はイメージです、記事との関連はありません。

輪・和・わ! インフォメーション

50周年を記念し、 記念誌を作成しました

利用者さん、職員50年の思い出が詰まっております。
お手に取っていただければ幸いです。

ご希望の方は明星学園までお気軽にお問い合わせください。



♡♡♡結の街メール♡♡♡

寄贈

- 紙と包装材料「株式会社中村」様から
トイレットペーパーを学園とグループホームに合
わせて2112ロール寄贈していただきました。
- シチズン時計マニファクチャリング(株)
飯田殿岡工場様から飯田社会福祉協議会を通じて
りんご4箱を寄贈していただきました。
- 中央高速道路様から
りんご4箱を寄贈していただきました。

ボランティア

- 松川赤十字奉仕団 様
- 日赤竜丘支部 様

今年度も大勢の方々にボランティア活動
をしていただきました。ありがとうございました。

2019年度(7月～2月) 明星学園・第二明星学園 苦情・虐待に関する通報事案

①苦情

明星学園：2件 第二明星学園：3件
対応)

・苦情受付書作成 ・苦情内容の検討 ・対応を検討(報告書作成) ・提起者に報告

②人権侵害・虐待を疑わせる通報

明星学園：1件 第二明星学園：1件

③園内取り組み

- ・虐待防止委員検討
- ・虐待チェックリスト、全クラス実施
- ・虐待研修実施(長野県出前講座 保護者、職員対象)
- ・虐待研修実施(職員対象)



社会福祉法人 明 星 会

障害者支援施設

明星学園(生活介護事業)(施設入所支援事業)

第二明星学園(生活介護事業)(施設入所支援事業)

〒399-2561 飯田市駄科2250

TEL 0265-26-9456 FAX 0265-26-9094

ホームページ <http://www.myojo-gakuen.or.jp>

メールアドレス myojo-gakuen-iida@clock.ocn.ne.jp

明星保育園

〒395-0807 飯田市鼎切石3928

TEL 0265-24-8020 FAX 0265-24-8008

ホームページ www.myoujou-hoikuen.com

メールアドレス myoujou-408@juno.ocn.ne.jp

北方日の出ホーム

〒395-0151 飯田市北方61-7 TEL 0265-48-8070

北方のぞみハイッ

〒395-0151 飯田市北方68-7 TEL 0265-48-0885

みんな幸せになりたい
あなたも私も